

日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra

下野セレクトの本命プログラム!

8/9

[プレトーク]

14:20~14:40

話=下野竜也

※本公演と同じお席でお楽しみください。

[開演] 15:00

[終演予定] 17:00

出演

指揮：下野竜也

Tatsuya Shimono, Conductor

チェロ：宮田 大*

Dai Miyata, Cello

コンサートマスター：扇谷泰朋

Yasutomo Ogitani, Concertmaster

曲目

小山清茂：管弦楽のための鄙歌第2番

ひなうた

〔12分〕

Kiyoshige Koyama: Hina-uta No. 2 for Orchestra

I. 和讃

II. たまほがい

III. ウポポ

IV. 豊年踊り

サン=サーンス：チェロ協奏曲第1番 イ短調 op. 33*

〔18分〕

Saint-Saëns: Cello Concerto No. 1 in a minor, op. 33

第1部 アレグロ・ノン・トロポ

第2部 アレグレット・コン・モート

第3部 テンポ・プリモ

— 休憩〔20分〕 —

ドヴォルザーク：交響曲第8番 ト長調 op. 88

〔40分〕

Dvořák: Symphony No. 8 in G major, op. 88

第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ

第2楽章 アダージョ

第3楽章 アレグレット・グラツィオーソ — モルト・ヴィヴァーチェ

第4楽章 アレグロ・マ・ノン・トロポ

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。

開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまいください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします(カーテンコール時を除く)。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など)。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市



音楽のまちかわさき



文化庁

日本からフランス、 そしてボヘミアの香りをふりかけた交響曲へ 音による旅を続けよう

文 片桐卓也

日本フィルが委嘱した民間に伝わる音楽を使った名作

小山清茂：管弦楽のための鄙歌第2番

このコンサートは日本フィルハーモニー交響楽団にとって大事な作品から始まる。それが小山清茂（1914～2009）の『管弦楽のための鄙歌^{ひなうた}第2番』である。1978年に「日本フィル・シリーズ」の第27作として書かれたが、このシリーズは日本フィルが作曲家に委嘱して新作を書いてもらうシリーズとして貴重なプロジェクトだ。作曲家の小山は長野県の山深い里の農家の出身で、土地に根付く音楽に囲まれて育ち、小学校高学年の時に近くの町で行われた陸軍戸山学校軍楽隊の演奏を聴いて、強い印象を受けた。その後、長野師範学校に学んで教員となった後に上京して、安部幸明に師事。東京都教員管弦楽団でフルート奏者を務めながらオーケストラ音楽を体感し、その後1946年に第14回音楽コンクールに『管弦楽のための信濃囃子』を出品して第1位を獲得したという経歴を持つ。

この『鄙歌第2番』は4つの部分から構成される。「I. 和讃」「II. たまほがい」「III. ウポポ」「IV. 豊年踊り」の4部である。「和讃」とは「日本語で仏を讃える歌」というような意味で、おそらくお遍路さんなどが唱えながら歩いていた歌。「たまほがい」の「たま」は「魂」のことで、和讃と共に天に昇った魂と地上の魂の交感を表現し、ここは小山の作ったメロディを使う。「ウポポ」は「アイヌ民族のわらべうた」のような意味で使われており、シンプルで美しいメロディが重なり合う。「豊年踊り」は伊予（現在の愛媛県）に伝わる伊予萬歳による音楽で、華やかで力強いクライマックスとなる。

作曲家の創作意欲が最も高かった時代の傑作協奏曲

サン=サーンス：チェロ協奏曲第1番

次いで、フランスの作曲家カミーユ・サン=サーンス（1835～1921）の書いたチェロ協奏曲第1番を、宮田大の独奏チェロをフィーチャーして聴く。サン=サーンスと言えば室内楽『動物の謝肉祭』や交響曲第3番『オルガン付き』などが定番で、優れたピアニストであったのでピアノ協奏曲を含めたピアノ曲も多い。しかし、現在人気のあるのはなぜか弦楽器のための協奏曲で、特にヴァイオリン協奏曲第3番やこのチェロ協奏曲第1番は人気が高い。

チェロの巨匠カザルスも愛したと言われるチェロ協奏曲第1番はパリ音楽院のチェロ教授であったオーギュスト・トルベックのために書かれた作品で、1873年に初演された。この作曲時期はサン=サーンスの最も充実した時期で、このチェロ協奏曲も全3部が切れ目なく演奏されるというスタイルを採り、単一の楽章による協奏曲と考えることもできる。第1部の第1主題が第3部にも登場するなど、一種の循環的な音楽形式とも言えるだろう。ソリストとオーケストラの息の合った演奏に期待したい。

イギリスの出版社から楽譜が出された情感豊かな傑作

ドヴォルザーク：交響曲第8番

コンサートの最後には、ボヘミア生まれで、アメリカでも活躍した作曲家アントニン・ドヴォルザーク（1841～1904）の交響曲第8番を聴こう。ドヴォルザークの生家はプラハ北郊にあり、肉屋と宿屋を兼ねていた。幼少期から音楽的な才能を見

せた彼は1857年にはプラハのオルガン学校に入学する。卒業後は一時期ヴァイオリン奏者として活動し、スメタナとも出会う。その後、1865年に最初の交響曲を書いている。

ドヴォルザークの交響曲と言えば交響曲第9番『新世界より』があまりにも有名だが、それ以前に書かれた8曲の交響曲もそれぞれにドヴォルザークらしさをたたえており、交響曲第3番などはオーストリア政府の国家奨学金審査に提出していた。

その後イギリスでも名声が高まり、ドヴォルザークは交響曲第7番をロンドン・フィルハーモニック協会のために書く。そしてロンドンの出版社ジムロックからこの交響曲第8番を出版することになる。作曲は1889年の秋だ。初演は1890年プラハで。

全体は4つの楽章から構成される。**第1楽章**は自由なソナタ形式で、ト短調を採用。**第2楽章**アダージョは室内乐的な印象も残す。**第3楽章**は3部形式だが、いわゆるスケルツォではなく、舞曲風の雰囲気を持つ。**第4楽章**は変奏曲によるフィナーレ。ブラームスの交響曲第4番のような構成を採っている。魅力あふれる交響曲である。



ドヴォルザークの肖像写真（1882年）

Column

民族音楽を取り入れたクラシック曲

小山清茂は日本各地に伝わる民謡などを使った作品をたくさん書いている。故郷である信州の秋祭りで見られる神楽の音楽を素材にした『管弦楽のための信濃囃子』や九州に伝わる木挽き歌を使った『管弦楽のための木挽歌』などが有名だ。

日本の管弦楽曲では群馬の八木節などを使った外山雄三の『管弦楽のためのラプソディ』が最も演奏頻度の高い作品かもしれない。

日本に限らず、世界中で民族音楽をオーケストラ音楽の素材に使った作品がある。ハンガリーのバルトークによる『ルーマニア民俗舞曲』はヴァイオリンとピアノでよく演奏されるし、友人だったコダーイもハンガリー民謡の「孔雀は飛んだ」を使って合唱曲や管弦楽のための変奏曲を書いている。母親がバスク地方生まれだったフランスの作曲家ラヴェルはピア

ノ協奏曲にバスク地方の民謡のメロディを使っているし、有名な『ボレロ』もラテン系のリズムによる作品である。もっと遡れば、ショパンがポーランドの民族舞曲であるポロネーズやマズルカをピアノ曲に使っていたし、ポロネーズはかなり古くからヨーロッパで知られた舞曲だったようで、あのJ.S.バッハにも「ポロネーズ」という名の作品がある。

その他、大航海時代以降、新大陸（南北アメリカ大陸）からヨーロッパに伝わった様々な音楽はいつしかクラシック音楽の中に根付いており、例えば「シャコンヌ」なども、元を辿れば新大陸起源の音楽である。

その作品を聴きながら、ちょっと気になったリズムやメロディがあったら、その起源を調べてみるのも面白いだろう。

（片桐卓也）

■出演者プロフィール



©Shin Yamagishi

指揮：**下野 竜也** Tatsuya Shimono, *Conductor*

NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内主要オーケストラに定期的に招かれる一方、チェコ・フィル、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演に招かれている。これまでに読売日本交響楽団正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、広島交響楽団音楽総監督を歴任。洗足学園音楽大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にあたる。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞など受賞多数。



©日本コロムビア

チェロ：**宮田 大** Dai Miyata, *Cello*

2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。トーマス・ダウスゴー指揮BBCスコティッシュ交響楽団との共演による『エルガー：チェロ協奏曲』の欧米盤が、欧州のクラシック界における権威ある賞の一つ「OPUS KLASSIK賞2021」を受賞するなど、海外からの評価も高まっている。スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。使用楽器は、上野製菓株式会社より貸与された1698年製A.ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。

■オーケストラ・プロフィール

日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



- 【創設】 1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務めた。
- 【指揮者】 カーチン・ウォン(首席指揮者)、小林研一郎(桂冠名誉指揮者)、アレクサンドル・ラザレフ(桂冠指揮者兼芸術顧問)、広上淳一(フレンド・オブ・JPO〔芸術顧問〕)、ネーメ・ヤルヴィ(客員首席指揮者)、ジェームズ・ロツホラン、ルカーチ・エルヴィン(以上、名誉指揮者・故人)、渡邊暁雄(創立指揮者・故人)
- 【ホーム・コンサート・ホール】 サントリーホール、横浜みなとみらいホール、杉並公会堂、東京芸術劇場、ソニックシティホール、府中の森芸術劇場、相模女子大学グリーンホール
- 【楽団ウェブサイト】 <https://www.japanphil.or.jp/>

サマーミュージア特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージア
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> ➔



アンケート ご協力をお願いします。

- ほぼ日刊サマーミュージアに感想が載るかも?
<https://gws-net.com/summermuza2025/> ➔



浴衣 de SUMMER MUZA!

- 浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
 開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュージア川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

<p>法人</p> <p>【特別賛助会員】 川崎幸病院 川崎信用金庫 キャノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェクト株式会社 三井不動産グループ</p>	<p>【賛助会員】 税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会</p>	<p>公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファブ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケイ株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ</p>	<p>セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シイ 東亜石油株式会社 株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 ぴあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎</p>	<p>ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイイーソリューションズ * 大宮町内会 他3法人</p> <p>【わくわくミュージア法人サポーター】 稲毛神社 おつけもの慶</p>
<p>個人</p> <p>阿部孝夫 遠藤智和 小笠原 将 金山直樹 国府保周 佐藤義寛 高井延幸 西 洋子 藤嶋とみ子 山下啓史 N.A 新井智彦 大越麻美子 岡田 元 喜多紘一 後藤 実 新保和浩 高橋美子 西山英昭 堀江智巳 山田昌克 T.Y 市橋信一郎 大須賀徳也 岡野 功 小林知子 杉山弘子 竹内啓介 長谷川喜代江 前田 泉 D.Y 井上敏昭 大塚具幸 小倉ヒロ・ミハエル 久住映子 佐伯 昇 鈴木甚郎 都築 豊 林 直人 松嶋邦生 K.O 宇佐美清一 岡垣克則 小野洋彰 小菅みつほ 佐藤晴茂 鈴木 徹 中村紀美子 廣瀬治昇 山内利夫 M.C 他匿名16名 敬称略五十音順</p>	<p>ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。</p>			